

既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	（倫理）第 3512 号
研究課題	熊本地震の経験に基づく多職種連携を志向した避難所アセスメント研修の実践と評価
本研究の実施体制	研究責任者： 熊本大学病院 災害医療教育研究センター コーディネーター（看護師） 内田 彩香 研究全体の統括、研究計画の立案、データ管理・解析、倫理対応、成果の公表を担当します。 研究分担者： 熊本大学病院 災害医療教育研究センター教授 笠岡 俊志 研究計画および結果解釈に関する助言、研究の学術的妥当性の確認および全体の監修を担当します。 本研究は単施設研究であり、共同研究機関は存在しません。また、試料・情報の外部提供は行いません。
本研究の目的及び意義	本研究は、熊本地震の経験を基に実施された避難所アセスメント研修について、その実践内容および教育効果を評価し、多職種連携のあり方に関する知見を明らかにすることを目的としています。 本研究により、災害時の医療・保健・福祉分野における連携体制の向上や、研修の質の改善に寄与することが期待されます。
研究の方法	本研究では、2025 年 10 月 11 日～12 日に実施された避難所アセスメント研修に参加した受講者および講師を対象とし、研修終了後に実施された無記名アンケート結果を用います。 アンケート結果を集計・分析し、研修の理解度や多職種連携に関する認識等を評価します。 研究成果は学会発表および学術論文として公表します。
研究期間	倫理審査承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
試料・情報の取得期間	

2025 年 10 月 11 日～2025 年 10 月 12 日
研究に利用する試料・情報 無記名アンケート結果および属性情報（職種等） データは熊本大学病院災害医療教育研究センターにおいて研究責任者が管理し、研究終了後 5 年間保管した後、適切に廃棄します。
個人情報の取扱い 本研究で用いる情報は無記名で収集されており、氏名や連絡先など個人を特定できる情報は含まれていません。また、対応表は作成しておらず、特定の個人を識別することはできません。 研究成果は個人が特定されない形で公表します。
研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法 本研究では個人を特定できないため、個別の結果は開示しません。 研究成果は学会発表および論文として公表します。 また、本研究では健康に関する情報や遺伝情報は扱っていないため、偶発的の所見が得られることはありません。
利益相反について 本研究は熊本大学の運営費交付金により実施しており、外部からの資金提供はありません。 開示すべき利益相反はなく、公正かつ健全に研究を実施します。
本研究参加へのお断りの申し出について 本研究に使用される情報について、研究対象者の方が利用を望まれない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ただし、本研究で用いるデータは無記名で収集されており、個人を特定することができないため、特定の個人のデータを識別し除外することができない場合があります。なお、研究参加を拒否されても一切の不利益はありません。
本研究に関する問い合わせ 熊本大学病院 災害医療教育研究センター コーディネーター(看護師)内田 彩香 メールアドレス：uchida.ayaka@kuh.kumamoto-u.ac.jp 電話：096-373-7215(内線 7215)